

令和5年度 代表者役員

Table with columns for 役員(委員会) and 役員. Sub-columns include 文化, 音楽, 体育, 広報, 総務, 会計, 顧問, 副会長, 会長. Lists names and roles of committee members and staff.



本年度の「役員」の皆さん

Calendar table for the month of July, showing dates from 19th to 1st, days of the week, and scheduled activities for each day.

生きがい

7月号

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園
新居浜市上原二一八一
代表者会 広報委員会
(844-48126)

「75歳の壁」を越えよう

代表者会
総務委員長 近藤 茂子



梅雨空の5月30日、令和5年度の第1回代表者会が開かれました。45サークルの代表が集まり会則や活動基準を確認し、年間予算や行事予定などを報告しました。

総務委員会の一番の行事である親睦旅行の実施を検討しました。結果、「コロナ禍も少し落ち着いてはきたけれど、まだ心配が残るというので、残念ながら今年は中止することになりました。来年こそコロナなどの心配もなく実施できることを祈るばかりです。

先日新聞で「75歳の壁」という言葉を知りました。心は若いつもりでも身体はしんどく、心身のギャップが生じやすい不安定な時を指すのだそうです。この壁の前で立ち止まって、もうダメだとあきらめるのと、出来ない事は受け容れて、出来る事で楽しく生きようと壁を乗り越えるのでは、その後の人生が大きく違ってきます。これを読んで一番目に頭に浮かんだのは、生きがい創造学園に学びを求めて集う学園生のことです。皆さんの気持ちが若く、色々なことに挑戦し、人生を前向きに生きている人達ばかりです。

りです。

ところで、私がボランティアで続けている人形劇が、今年30年を迎えました。3年間のコロナ禍で、いつもの年の10分の1くらいしか公演に行けなかったのですが、熱心に劇を見てくれる笑顔の子供達や、ティサービスでのお年寄り達の笑顔や暖かい拍手は忘れることができません。何よりも、公演中は人形劇のこと以外一切考えないので、その集中力と緊張感は、他では得られないものです。舞台から組み立てる準備に1時間程、公演に約1時間、片付けて車に積み込む作業に30分余り。

体力的に少しきつく感じることもありますが、5年後の壁を軽々と越えられるように、体力をつけて気力を保ち、仲間と共に頑張っていきたいと思っています。

皆様も学園で学びを一生のものとし、仲間と一緒に壁を乗り越えましょう。

(茶道さくら・中萩)

Calendar table for the month of July, showing dates from 10th to 1st, days of the week, and scheduled activities for each day.

茶道サークルみどり

利休の教え



おいしい和菓子とお抹茶が頂ける、そんな軽い気持ちで茶道の講座の申込みをし、その後茶道サークル「みどり」に入れていただいて、早いもので今年で四年目になります。

昨年はお稽古の改修工事に伴い、先生のご厚意で自宅でお稽古させていただくことになりました。茶室から眺める季節の花が咲くお庭や花器の鑑賞に至るまで、本当に穏やかな幸せなひと時を過ごさせていただきました。

月二回のお稽古の日は日常を離れその日のお床の掛け軸、お花を見て、奥が深い茶道の魅力、和の心を感じながら一服のお茶を感謝して頂きます。お点前の足さばき、指先、帛紗さばきにいたるまで種類が多くなかなか覚えられず毎回四苦八苦しています。利休の教えに

「稽古とは一よりの習ひ十を知り 十よりがへるものとありますが、何度も繰り返しいるうちに茶道の真意もだんだんと理解が出来るようになって実感する日々です。

気長く熱心にご指導下さる金村宗裕先生はじめ先輩方、仲間達との出会いに感謝して、これからも精進していきたいと思えます。

(船木 藤原みよ子)

俳句サークルつれづれ

ふり返って

五七五

俳句との出会いは、平成二十七年の学園の俳句教室でした。筆記用具があれば、できるだろうと単純な理由で始めました。翌年にその時のメンバーでサークル「つれづれ」を発足し、今年ではや八年目になります。その間、新型コロナウイルスで学園も休園、月一回の句会もできない時もありました。また昨年は学園の改修工事で、場所を中萩公民館に変更して実施しました。講師の先生も阪上史琅先生から、令和二年八月、猪瀬美智子先生に変わりご指導を受けています。代表者は亀井喜一郎さんがずっとくださっています。

今年はお員が十三名になり、毎月の句会で会員の句を見るのが楽しみです。しかし、自分の句作りはなかなか進まず、提出する五句ができず、前日の日曜の夜「どつする五句」という時が度々です。読めない字、書けない字を国語辞典で調べたり、季語を歳時記で調べることが、句作りには欠かせません。またテレビの俳句番組、新聞に掲載された入選句を見ることで、少しでも視野が広がればと思っています。

両親のことを詠むこともありですが、新聞の句の切り抜きを父が生前の四年余りしてくれたこと、今も有難く、保管しています。知らなかった言葉を知り、季節を感じ、自然を楽しみ、見たこと、思ったことを言葉で作りながら、

学園歌壇

サークル短歌みらい



寿ぎの賀状手にして早六月時計の針が私を置き去る格差なく競争のなく暮らしたる縄文人(びと)の明日を愁えるこの春もさ庭に集える目白らは夫の植えたる紅梅のなか

加藤 千春
清水 哲夫
近藤佳代子

学園柳壇

サークルねこやなぎ



陽射し浴び両手広げて深呼吸
失敗も明日頑張る種にする
気付くかなマスク外した友の顔
世情など笑い飛ばそう生き上手

伊藤 純子
小田登美夫
伊藤たみ子
井原みつ子

学園俳壇

サークルつれづれ



春愁や缶ドロップス廃業す
国境を急ぐ医師回リワの花
この匂ひ主治医の匂ひ白衣涼し
老農の畑に勤しむ産種かな

高橋 智子
寺村 洋子
明星 妥子
猪瀬美智子



お知らせ

◆6月号4頁・「学園柳壇」の井原みつ子先生の句を次のように訂正します。

さくらハラハラと延命拒否ステキ

◆30年記念誌の一部に誤りがありました。次のように訂正します。(代表者会)

(誤)「趣味の料理教室」
↓(正)「男の料理教室」

61頁のサークル美味しんぼの紹介文中、以下の箇所を訂正します。

この「生きがい」は新居浜市のホームページでご覧いただけます。このQRコードをご利用ください。



編集後記

AI の話題を最近よく耳にします。人工知能のことで、なかでもチャットGPTというプログラムが開発されて、パソコンで人間の問いかけに対して、AIがまるで人間が書いたような文章や図で応答をすることができるようになりました。学生時代にレポート作成に四苦八苦した我々に比べると、これからは随分楽だなあと思ったりしますが、それって手放しで頼りきって、無条件に活用して良いものなのかなあ?とも思います。思考をしなくなった脳は大丈夫?だんだんと退化するのでは?特に子ども達がそうならいっただらう、将来の人類としてそれは大問題なのでは... パスカル曰く「人間は考える葦である」今一度AIとの関係を考えてみる必要があるのではないのでしょうか。(生きがい子)



ご恵贈お礼

◎ロビー生け花 令和五年六月度
神野 早希甫 様(講師)
◎川柳にはま 令和五年六月号
にはま川柳会 様



句会中の皆さん

学んで行くつもりです。「才能なし」でも、句会での選句「めざせ一点」で、これからも続けて行きたいと思えます。(金子 高橋 智子)